

文化の丘

平成 30 年秋号
(ISSN 1345-2282)

No.359

- 1 図書館職員の仕事
- 2 図書館職員のある1日
- 3 イベント情報
昔へいざない
こんにちは 館長です
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

特集 図書館職員の仕事



安田主査 プロフィール
 H19 入庁、司書。資料課新聞雑誌係、企画振興課振興係勤務を経て、H28 から資料課図書班で一般図書の受け入れを担当している。
 趣味は映画鑑賞。最近読んでいる本は『ようこそ、難民!』（合同出版）

どんな仕事をしているの？

図書館職員ってどんな仕事をしているのだろう、と思ったことはありませんか。真っ先に思い浮かぶのは、利用者の皆様と直接お会いして行うカウンター業務でしょうか。

県立中央図書館には、総務課、企画振興課、資料課、調査課の4つの課があり、担当ごとに様々な業務を行っています。本に関する業務はもちろんですが、施設管理やイベント実施、研修実施、市町立図書館支援など役割は多岐にわたります。

今回は、資料課安田主査にスポットを当て、1日の業務の様子を紹介します。

<県立中央図書館資料課の業務内容>

図書資料・視聴覚資料・電子資料の収集・整理・利用促進、子ども図書研究室及びグランシップ図書館コーナー「えほんのひろば」の運営、県内図書館への協力貸出、県外図書館との相互貸借、逐次刊行物の収集・整理・利用促進 など(図書班、新聞雑誌班の2班集体)

ある1日のスケジュール

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 8:30 ~ 出勤 朝の打合せ 開館準備 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8:45 ~ 書架点検 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 9:30 ~ 購入リクエスト資料受入、
電話対応、メールチェック等 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 11:00 ~ 選書会議 | <input type="checkbox"/> |
| 12:00 ~ 新県立中央図書館基本計画の内容確認 | <input type="checkbox"/> |
| 13:00 ~ 昼休み(この日、12時台は電話当番) | |
| 14:00 ~ 子ども図書研究室での作業 | <input type="checkbox"/> |
| 15:00 ~ 総合案内カウンター業務 | |
| 16:30 ~ 資料の配架 | |
| 17:15 業務終了 | |





今回は、6月のある日の様子を紹介したいと思います。

8:30 ~ お仕事開始！開館準備



1日のはじまり。開館に向けて準備をします。お客様に1日気持ち良く利用していただけるよう、朝の準備は入念に行います。ブックポストに戻された本の返却処理、カウンター準備、閲覧用新聞の配架、新着図書棚の本の整頓などを手分けして行います。



8:45 ~ 書架点検



本には請求記号ラベルが貼られており順番に書架に並べられています。書架点検では、本が順番どおり並んでいるか、ラベルが剥がれていないかなどを確認します。県立中央図書館の蔵書は83万冊を超えます。正しい位置に本がなければ、探し出すのは至難の業。お客様に素早く資料を提供できるよう、書架は常に整えておく必要があります。書架点検は一見地味ですが、大切な作業です。



9:30 ~ 資料の受入、電話対応、メールチェック等

この日はお客様からリクエストを受けた本の受入作業をしました。本のラベル貼りや透明カバー掛けは、業者をお願いしていますが、リクエストを受けた本については、より早くお客様の手元に届けるため、職員自らラベル貼りやシステムへの情報登録を行います。本日も迅速かつ丁寧に作業しました。



県内の図書館から、「廃棄予定の本があるが県立で受け入れ可能か。」という連絡があったため、確認の電話を掛けました。当館で受入を希望する本があるかどうか確認したいので、リストを送ってもらうことになりました。



11:00 ~ 選書会議



図書館では、どの本を購入すべきか会議で相談して決めています。いくつかのグループに分かれ、それぞれが担当する分野の本について毎週話し合います。この日は各グループの代表が集まり、最終的に購入する本を決める会議が行われました。当館では一般図書だけで、毎週150冊前後を購入しています。



12:00 ~ 電話当番、新館基本計画案チェック

電話当番の時間です。お客様からのお問い合わせに速やかに対応します。また、待機時間を利用し、新県立中央図書館基本計画案を読み込んで内容のチェックをしました。安田主査だけでなく、図書館の全職員が基本計画の作成に携わっています。

14:00 ~ 子ども図書研究室での作業



今月受け入れた児童書の新刊を1冊ずつチェックします。当館の子ども図書研究室では、子どもの本を全点収集しています。毎月200~300冊受け入れているこれらの本に担当職員が目を通し、評価基準に基づき良い本を選定します。安田主査は知識の本を重点的にチェックします。これらの本についてリストを作成し、ウェブで公開しています。また、年間5回実施している新刊サロンでも紹介しています。



15:00 ~ 総合案内カウンター業務



資料の貸出返却処理の他、インターネット端末や視聴機、マイクロフィルムリーダーなどの利用受付を行います。図書館の仕事と言われて真っ先に思い浮かぶのはこの業務ではないでしょうか。総合案内カウンター、レファレンスサービスカウンター業務は職員が交替で行っています。



16:30 ~ 資料の配架



お客様から返却された資料を書架へ戻します。資料が迷子にならないよう、所定の場所に確実に配架します。

17:15 業務終了！おつかれさまでした。

イベント情報 ふじのくにブックレクチャー

「静岡の青い空から広がった私の小説と科学」

静岡県出身の小説家瀬名秀明氏を講師にお招きし、「静岡の青い空から広がった私の小説と科学～『パラサイト・イヴ』から『この青い空で君をつつもう』まで～」というテーマで講演いただきます。

日時 10月7日(日)午後2時～3時30分
講師 瀬名 秀明氏(小説家)
会場 静岡県立大学大講堂
定員 600人(要事前申込・先着順)

参加
無料

講座に関するお問い合わせ、お申し込みは 静岡県立中央図書館 企画振興課へ
①電話 054-262-1246 ②FAX 054-264-4268
③Eメール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp ④来館
⑤静岡県立中央図書館ウェブサイト(受付フォーム)

県立中央図書館 開館インフォメーション

	本館	えほんのひろば
開館時間	月、火、土、日、休日 午前9時～午後5時	午前9時30分 午後6時
	水、木、金(休日以外) 午前9時～午後7時	

※ 安全対策のため、閲覧室には入室いただけませんが、資料貸出、レファレンス等のサービスは行っています。(本館)

	本館	えほんのひろば
休館日	9月3、18、28日	9月11、12、17、24日
	10月1、15、29、31日	10月8、16、17、18日
	11月5、19、30日	11月3、13、14、23日

※ 開館やサービスに関する情報は変更が生じる可能性があります。最新の情報については当館のウェブサイトにてご確認ください。

いにしえ 歴史文化情報センター 昔へ いざない

第一次世界大戦と静岡俘虜収容所のドイツ兵

本年2018年は明治元年(1868年)から150年目に当たりますが、ちょうど100年前は大正7年(1918年)です。ついに、大正時代も100年前となってしまったのですね。

大正3年(1914年)、欧州で第一次世界大戦が勃発すると日本はドイツに宣戦布告し、中国山東(シャントン)半島の青島(チンタオ)要塞を攻略しました。戦闘には静岡連隊と浜松連隊も参加しており、約1ヶ月でドイツ軍守備隊は降

伏しました。約4700人のドイツ軍将兵が捕虜となり、うち107人が静岡市内の静岡俘虜収容所に収容されました。3年8ヶ月に及ぶ同収容所での捕虜の生活は比較的自由が認められ、師範学校の運動場でドイツ兵からサッカーの指導を受けた静岡市民もおり、後年のサッカー王国静岡の伏線となったのかもしれない。

写真は、大正4年(1915年)4月13日に静岡収容所で死亡したドイツ海軍一等砲兵グスタフ・マタイスのお墓で、青島攻防戦の際に受けた銃創が遠因となって亡くなったようです。墓石は大正7年(1918年)に建立され、現在も静岡市葵区沓谷の旧陸軍墓地内で供養されています。

ドイツ兵捕虜墓



(歴史文化情報センター所蔵)

静岡県立中央図書館 歴史文化情報センター 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7階
電話 054(221)8228 FAX 054(255)3988 メール rekibun02@tosyokan.pref.shizuoka.jp

こんにちは 館長です

秋号と呼ぶには、猛暑の続く毎日、ここ、谷田山の真夏を象徴するセミたちが、まだまだ自分たちの季節だといわんばかりに、元気な鳴き声を熱く響かせています。

去る6月27日には、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の事務局次長である山本英里氏を講師にお招きし、子ども図書研究室講演会を開催しました。「本、図書館の力～海外の現場から～」と題し、東南アジアを中心とした現地でのボランティア活動を踏まえた内容から、内戦や貧困のため、学校で学ぶ機会を奪われた多くの子どもたちに、生きる喜び、将来への夢と希望を与える一冊の本、その宝庫である図書館の役割を知ることができました。現地の映像の中で「読み書きができれば違う人生があったかもしれない」、心の内を静かに語る女性の、自分のために絵本を読み聞かせてくれる幼い娘に注ぐ、穏やかな希望の瞳が印象に残ります。彼らのために私たちに何ができるのかを考える機会でもありました。それと同時に、読み聞かせるボランティアの語りにも耳を澄ませ、目を輝かせ聞き入り、ごく自然にもっと聞きたい、

学びたい、将来こういう人になりたいと率直に語る、子どもたちの真剣な表情や発言から、学ぶ機会が当然のこととして保証され、欲しいものが簡単に手に入ることがあたりまえになり、自由な豊かさの中で、逆に、何をしたらよいのか迷ってしまっている私たちについても考える機会をもらいました。

8月には、昨年度は臨時休館に伴い開催を中止せざるを得ませんでした夏休み子ども図書ウィークの企画が、今年は好評のうちに実施できました。普段の学校の授業では学べない、子どもさんたちの夏休みの課題研究の一助にもなっていただけなのではと思います。

閲覧室についてはいまま使用できぬ状況で、県民の皆さまには、ご迷惑をおかけしております。修復のための設計計画が固まり、いよいよ工事に入っていき段階にきています。修復工事が始まりますと、誠に恐縮ですが、それと関連する書庫の資料貸出に支障が出る可能性があります。具体的な情報につきましては、ホームページでお伝えさせていただきます。

苦しい状況ではありますが、精一杯、県立図書館の持てる機能を発揮して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



2017.12.6 静岡市立長田図書館



2018.1.17 焼津市立焼津図書館



2017.11.29 森町立図書館



2017.12.1 御殿場市立図書館



2017.11.29 磐田市立中央図書館



2017.11.28 磐田市立竜洋図書館



2017.11.29 袋井市立浅羽図書館



2017.11.29 袋井市立袋井図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。